

今週のビルマのニュース 2010年3月26日【1012号】

スーチー氏はNLDの総選挙参加に反対

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏は23日、自らが率いる国民民主連盟（NLD）は総選挙に参加するための政党登録をするべきではないとの個人的見解を示した。NLDは29日の会合で登録するかを決める予定（24日AFPほか）。またNLDは23日、選挙関連法が当局により一方的に制定され正当性を欠き、内容も自由・公正でないとして、ビルマ最高裁に訴えを起こした。最高裁は管轄権を持たないという理由で訴えを受け付けなかった（23日NLD声明）。

・軍政の17日付の通達によれば、政党が選挙に関する出版物を出すには50万チャット（約500ドル）の保証金を払い検閲局の許可を得る必要がある。軍政や国軍に批判的な内容等は禁止されており、違反すると保証金が没収される（25日ミジマ）。

【背景】軍政は今年実施を予定する総選挙に関連する5つの法を発表し、立候補資格を認定する権限を持つ選挙管理委員会の委員17人を任命した。政党登録法の下では、有罪判決を受けた者は政党の党員にはなれず、国民民主連盟（NLD）は書記長のアウンサンスーチー氏など有罪判決を受けた党員を除名しなければ政党としての資格を失う。さらに、NLDを含めた既存の政党は、3月8日から60日以内に選挙管理委員会に登録しなければ政党として存続できない。

国連事務総長「民主化への進展がないのは残念」

・国連では26日に安保理が選挙関連法について協議した。また25日には潘基文事務総長が15か国によるフレンズ会合を招集した。会合後、事務総長は「政府はすべての関係者が選挙に参加できる環境を作り出さなければならない。これには政治囚の解放や基本的な人権の尊重が含まれる。民主化に向けた進展が見られないのは残念」と述べた（25日AFPほか）。

キャンベル米国務次官補「政党登録法には失望」

・キャンベル米国務次官補はイラワディ誌に対し「政党登録法には深く失望している。民主化過程をばかにするものであり、このままでは選挙が信用性を欠くことは必至だ」と述べた（23日イラワディ）。

中国がサルウィン川でダム開発へ

・中国当局の発表によれば、複数の中国国有企業がコンソーシアムを組み、ビルマのサルウィン川本流に90億ドル、7.1ギガワットの水力発電所を建設す

る。完成すれば東南アジアで最大の設置出力となる。建設予定地は昨年ビルマ国軍が制圧したシャン州北部のコーカン地区にある（24日ダウジョーンズ）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など 新たな発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、23～26日 15～16時）

・抗議行動ービルマ軍事政権がすすめる 2010年総選挙に反対！ 在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか（在日ビルマ大使館前、27日 15時～16時）

・「逃げ続ける難民たちの声ータイ・ビルマ国境訪問報告会」 報告者：ベネディクト・ロジャーズ、秋元由紀（文京区区民会議室、31日 18時半～）

・シャンティ国際ボランティア会（SVA）ミャンマー（ビルマ）難民支援事業報告会（JICA 地球ひろば、4月1日 19時～）

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会 講師：ベネディクト・ロジャーズ（大阪ボランティアセンター、4月2日 18時半～）

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きるビルマ難民は今」（コニカミノルタプラザ、4月3～14日 10時半～19時。最終日は15時まで）。ギャラリートーク「国境の現場からーフォトジャーナリズムの力を信じて」野中章弘×渋谷敦志 4月7日 18時～ ★先着 40名

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165